

5. 心房細動にならないためにできることは？

心房細動は、高齢者に多い生活習慣病です。

心房細動、ひいては脳梗塞を予防するために、日常生活で以下のことを心がけましょう。



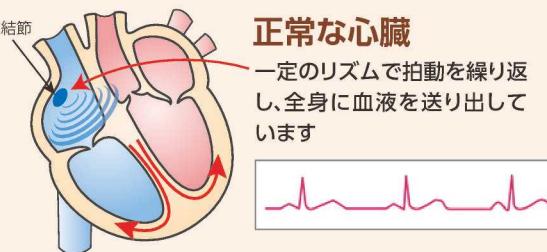
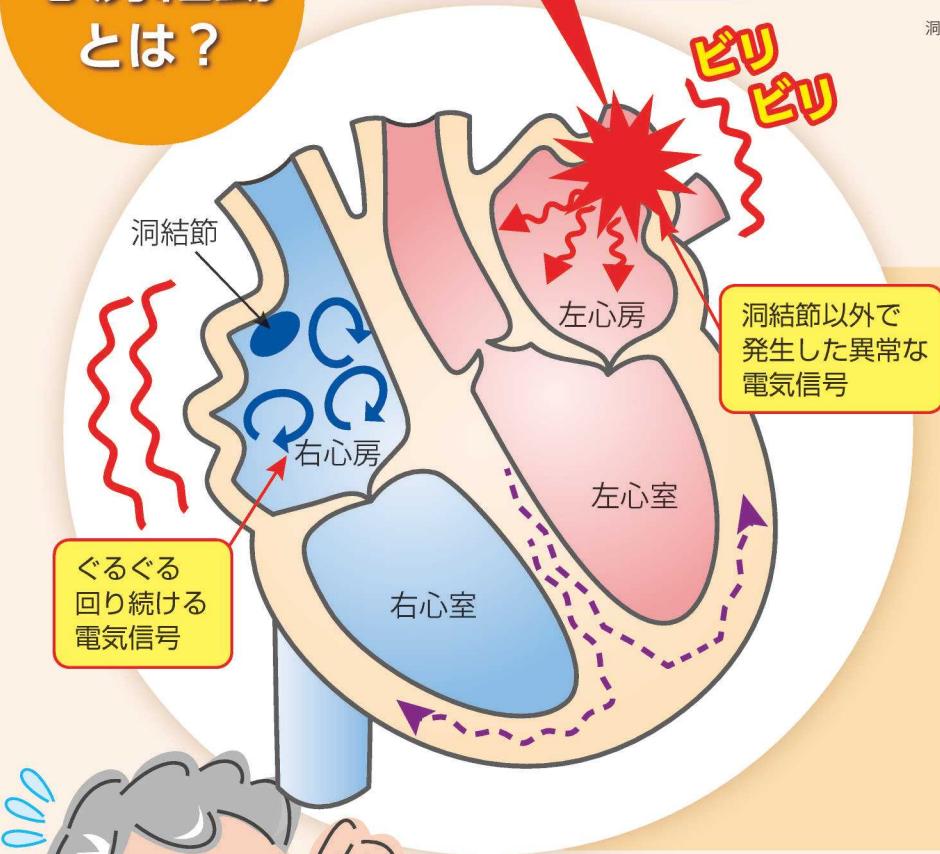
心房細動があると血栓ができやすく、将来脳梗塞になるリスクが高まります。

日常生活での改善、早期の治療で健康寿命をのばしましょう

心房細動

心房細動とは？

肺静脈からの異常興奮



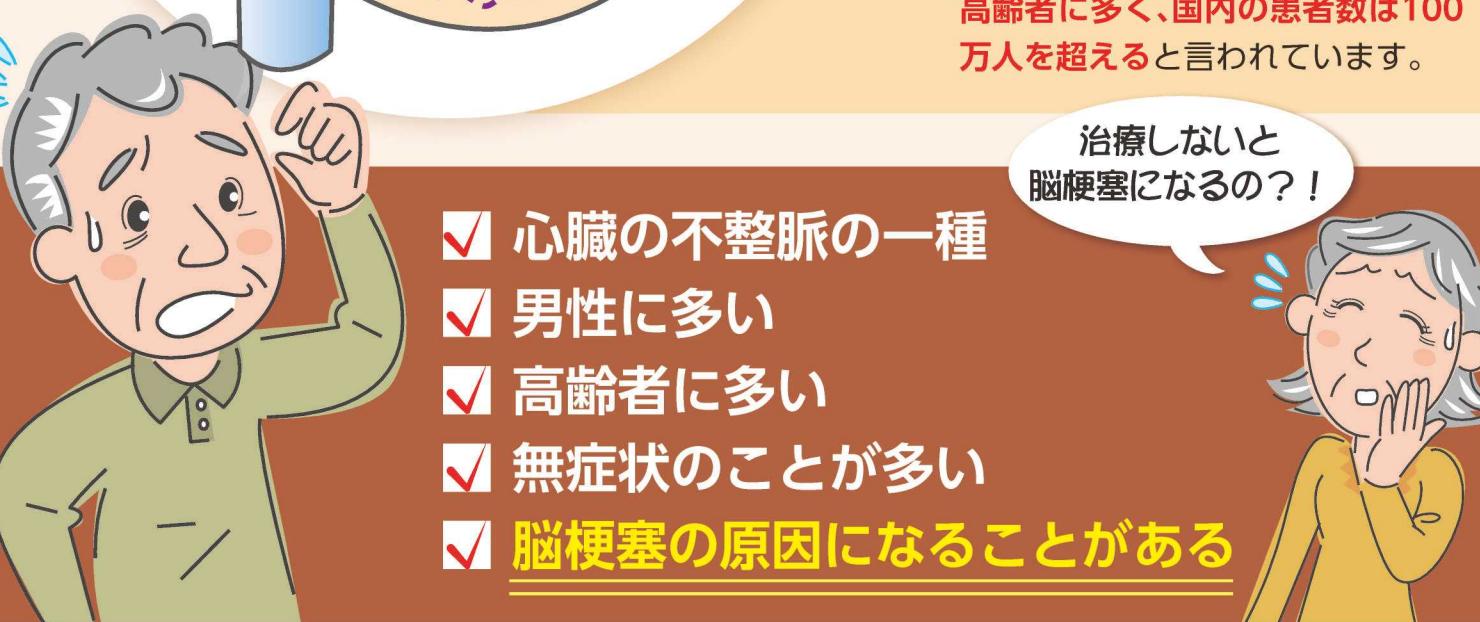
心房細動は、心臓の不整脈の一種です。

心臓の脈は、正常では一定のリズムで規則正しく打ちますが、心房細動では脈がバラバラになるのが特徴です。

高齢者に多く、国内の患者数は100万人を超えると言われています。

治療しないと脳梗塞になるの？！

- ✓ 心臓の不整脈の一種
- ✓ 男性に多い
- ✓ 高齢者に多い
- ✓ 無症状のことが多い
- ✓ 脳梗塞の原因になることがある



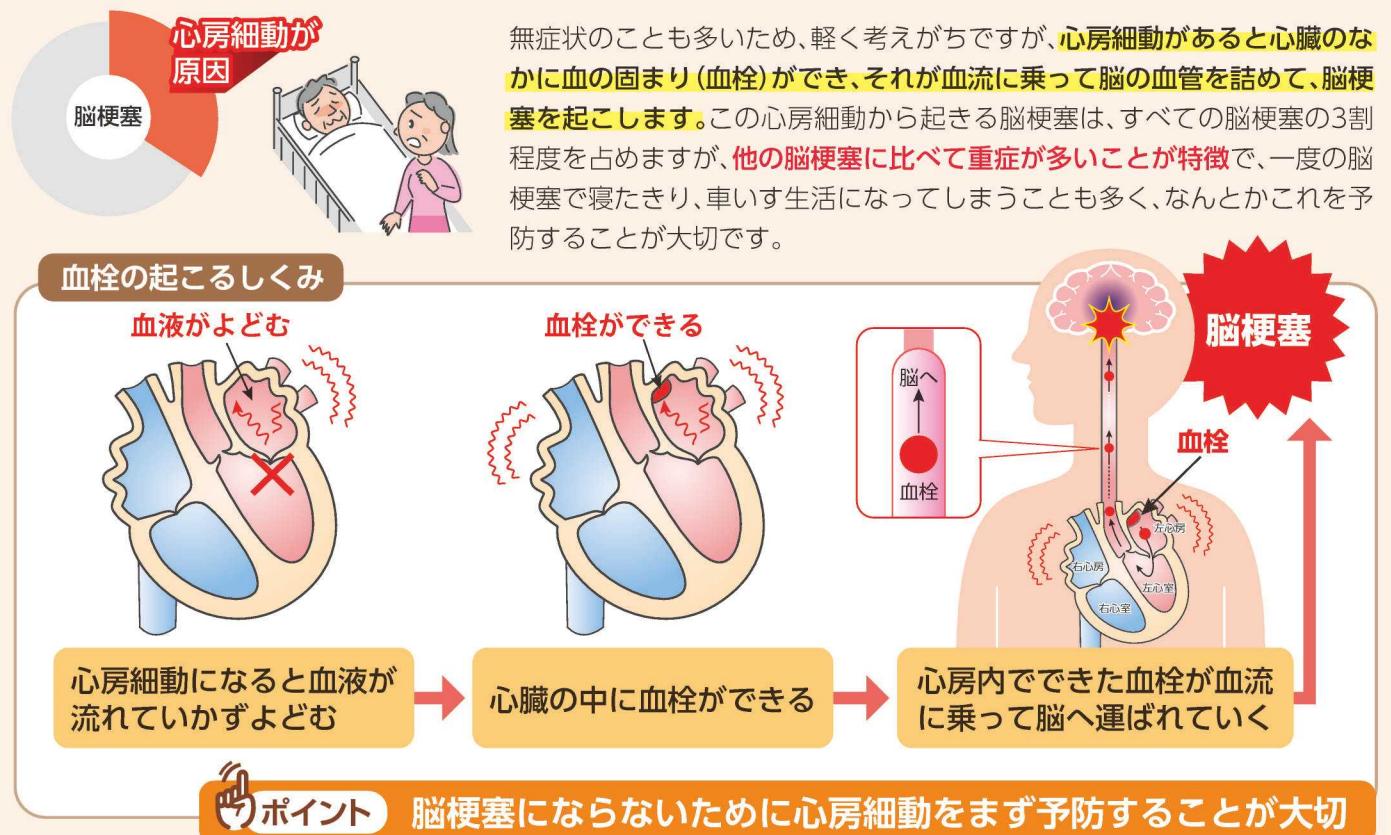
しばしば重症の脳梗塞を起こすことがあります。
早期の治療がとても大切です。





心臓の老化現象である「心房細動」。重症の脳梗塞にならないためにできることは？

1. 脳梗塞の3割が心房細動が原因！？

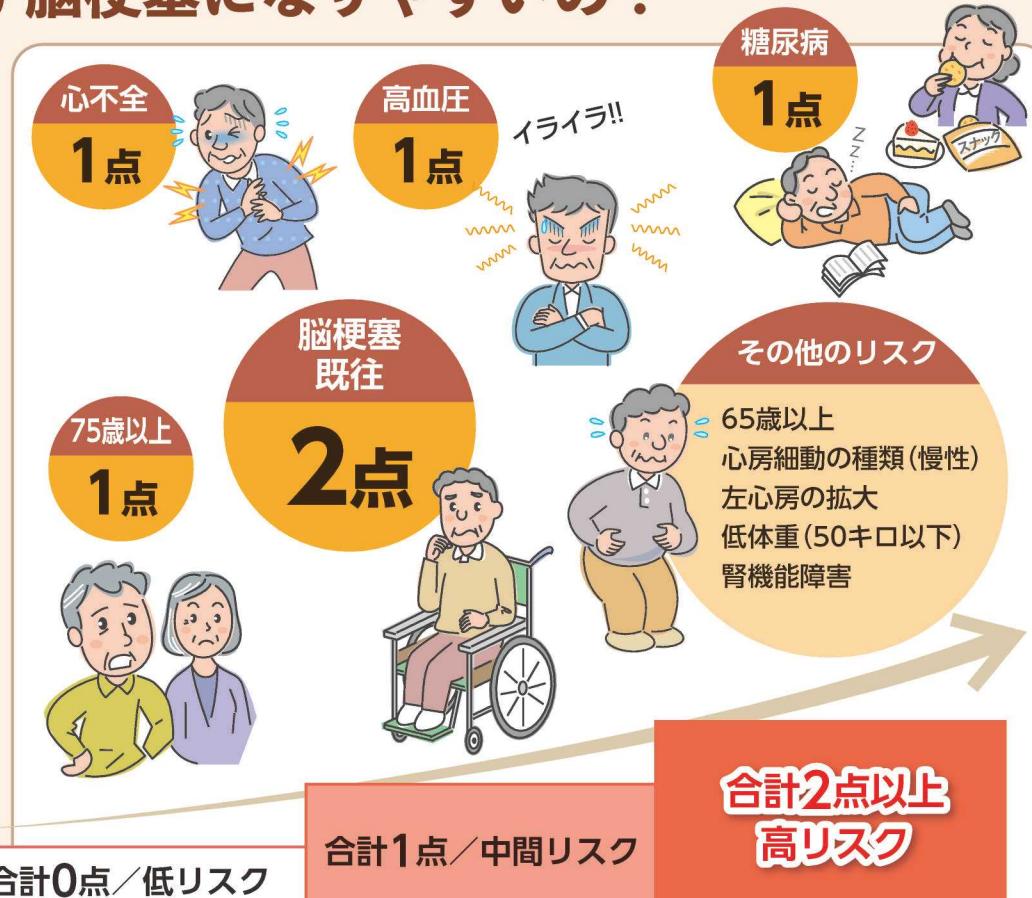


2. どんな人が脳梗塞になりやすいの？

脳梗塞発症のリスク

心房細動患者のなかで、**脳梗塞**を起こしやすい患者さんを見つけるため、CHADS₂スコアで各患者さんに点数をつけます。心不全、高血圧、75歳以上、糖尿病で各1点、脳梗塞既往で2点（満点で6点）です。0点は低リスク、1点は中間リスク、2点以上は高リスクと分類されます。これ以外にも、**65歳以上、心房細動の種類（慢性）、左心房の拡大、低体重（50キロ以下）、腎機能障害**などもリスクと言われています。

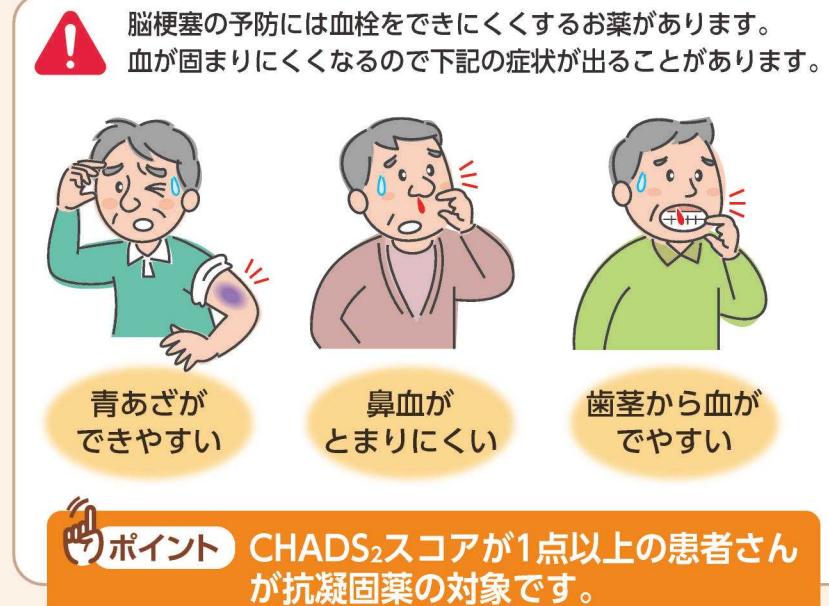
ちやう
CHADS₂スコアで
点数をつけて
みましょう



3. 脳梗塞を予防するお薬はあるの？

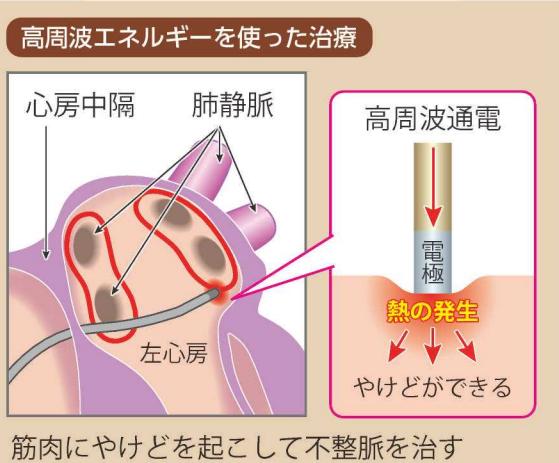
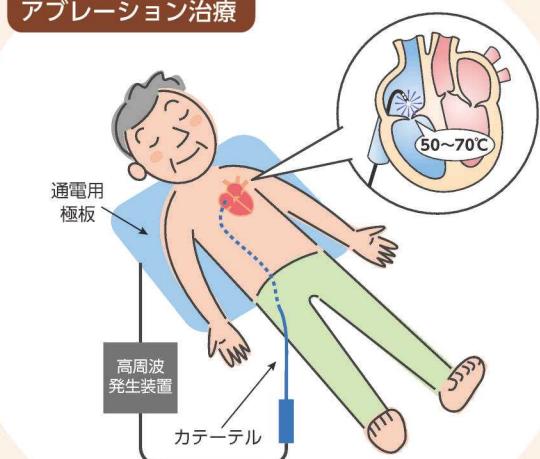
脳梗塞予防のための抗凝固薬

脳梗塞の予防には、**抗凝固薬の有効性**が証明されています。血液の凝固性を妨げて、**心臓のなかに血栓ができるにくくすることで、脳梗塞を予防**します。血液が固まりにくくなるので、出血しやすい状態になります。**歯茎から血が出やすい、鼻血が止まりにくい、青あざができるやすい**、など命に別状はないものが大半ですが、時には命に関わるような出血を起こします（最も怖いのは脳出血です）。俗に「**血液サラサラの薬**」といわれますが、血流をスムーズにする、といった健康増進の効果ではなく、あくまでも脳梗塞の予防が目的です。**CHADS₂スコアが1点以上の患者さんが、抗凝固薬の適応**になります。



4. 心房細動の治療方法にはなにがありますか？

カテーテルアブレーション治療



カテーテル治療

心房細動の治療として「カテーテル治療」「アブレーション治療」という名前を聞いたかたもおられるかと思います。これは、**心臓のなかに細い管（カテーテル）を入れて、心房細動を起こす源となる悪い脈が心臓全体に拡がらないよう、隔離してしまう**ような治療です。心房細動を起にくくして、動悸などの症状を緩和する効果が実証されていますが、3時間前後かかる比較的大がかりな手術になります。全ての心房細動患者さんに行うような手術ではなく、この治療の適応になるかどうかは、専門医に相談することが必要になります。

ポイント 心房細動が起にくくする治療として、カテーテルを用いたアブレーション治療があります。

